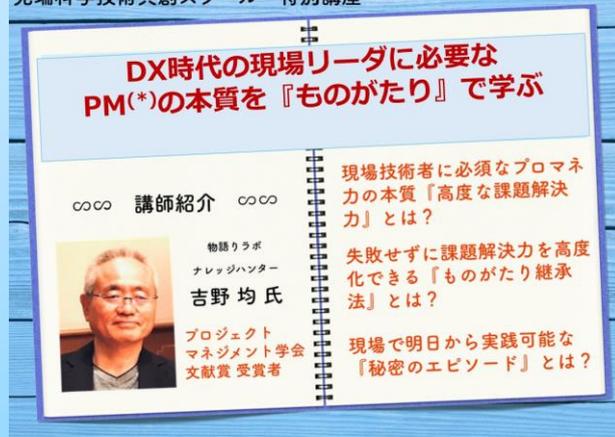


# DX時代の現場リーダに必要なPM(\*)の本質を『ものがたり』で学ぶ

～成功の秘訣を伝える技法を学び明日から実践～

日時：2025年2月7日（金） 9:00～17:00  
 場所：JAIST金沢駅前オフィス  
 石川県金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 9F  
 講師：物語りラボ ナレッジハンター 吉野 均 氏  
 受講料：24,000円（昼食弁当付き、税込み）  
 (\*)PM：プロジェクトマネジメント



主催 一般社団法人JAIST支援機構 後援 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

【対象者】現場技術者、チームリーダ、プロジェクトマネージャ

【最少催行人数】10名 ※申込者が最少催行人員に満たない場合は中止となります。その場合入金された受講料は返金します。

## 【講座設定の背景と講座の目的】

DX時代のプロジェクトは、目的が高度かつ達成困難で、多種・多様なプロが参画する複雑なプロジェクトで、目的達成を阻むDXの修羅場『魔の川・死の谷・ダーウィンの海』が存在します。この修羅場を乗り越えるには、全てのプロの知恵と力を結集する必要があります。この知恵と力を結集する力こそ、PMの本質であり、現場リーダに必要な変革マインドとデジタル技術を使いこなす課題解決力です。当講座の目的は、PMの本質とは何かをプロジェクトの実践を伝える『ものがたり』から深く学ぶと共に、プロジェクトの成功の秘訣や失敗の真因を伝える『秘密のエピソード』という技法を、講義や事例演習で楽しく学び、明日から実践に移すことです。合わせて地元の技術者ならではの悩みや苦勞、知恵を共有する場、チャネル作りのお役に立つ場となるようグループ演習を取り入れています。

## 【お申し込み】

以下のホームページからお申し込み下さい。

<https://forms.gle/kp2dZnEKKgBtvC166>

## 【講座の概要】

本講座では、現場リーダに必要なPMの本質を『高度な課題解決力』と名付け、右図の通り、課題志向性と課題解決力が掛け合わされて機能すると定義します。

なぜ、この様に定義しているか、ミニ演習で絶対絶命の危機に立たされたプロマネの課題解決プロセスを疑似体験しながら、深く理解して頂きます。

さらに、DXの修羅場を乗り越える過程を再現した『ものがたり』を疑似体験し、PMの本質を身につけた『課題解決型リーダ』の一例を学びます。疑似体験頂く『ものがたり』は、富士通株式会社で『ものがたり継承法』を展開した際の成果物『DX実践記』です。

最後に、『秘密のエピソード』と呼ぶ『ものがたり継承法』の技法の実践を提案します。『秘密のエピソード』とは、プロジェクトの成否を分ける修羅場の課題に遭遇し、それを何とか解決した経験や、残念ながら失敗した経験を、『修羅場の概要』と『修羅場のエピソード』の2枚のワークシートにまとめることで修羅場の課題を解決する知恵を伝える技法です。長編の『ものがたり』作りと比較すれば、業務多忙な現場リーダでも簡単に作れるのでお勧めできる技法です。

ここでは、まずPMBOK® 第7版12の原理・原則を事例で伝える『秘密のエピソード』を紹介します。これは、PMAJ(日本プロジェクトマネジメント協会)の「PMノウハウ継承研究会SIG」が、『ものがたり継承法』の考えに基づいて生み出した成果物です。12の原理・原則には、非常に重要なPMの本質が書かれています。しかし、その言葉を読むだけでは、12の原理・原則に則って、どう行動すれば良いかという知恵まで学べません。その知恵は、事例で学ぶのが良いと考え『秘密のエピソード』作りを進めています。ぜひ、『秘密のエピソード』の疑似体験でPMの実践的な知恵が学べるか体験してみてください。

効果を体感頂いた上で、『秘密のエピソード』の作成方法を学んで頂きます。グループ演習では、皆さんご自身の修羅場経験を披露頂いて、その一つを題材に『秘密のエピソード』作りにチャレンジ頂きます。

皆さんには、講義で学んだPMの本質への気づきと、地元の技術者との対話を通して得た気づき、『秘密のエピソード』作りを現場で実践できる知恵をお持ち帰り頂けます。

講座に参加される皆さんは、プロジェクトの修羅場か、技術上の課題を解決した修羅場、人生の転機となった修羅場の経験を披露できるよう、添付の『修羅場の概要』を参考に箇条書きに整理し、ご参加ください。

## PMの本質＝『高度な課題解決力』の定義



## 【テキスト目次】 ※変更する場合がございますので予めご承知下さい

No	講義内容	備考
1	DX時代の現場リーダに必要なPMの本質	アイスブレイク演習
1	DXの修羅場『魔の川・死の谷・ダーウィンの海』	ミニ演習
2	PMの本質＝修羅場を乗り越える『高度な課題解決力』とは	ミニ演習
3	DX時代の現場技術者が目指す人材像『課題解決型リーダ』	
2	PMの本質を疑似体験で伝える『ものがたり継承法』	
1	『ものがたり継承法』による『疑似体験』の仕組み	
2	『ものがたり継承法』の富士通での成果事例・概説	
3	『DX実践記』を疑似体験 変革マインドと実践力を学ぶ	ミニ演習
4	『ものがたり継承法』の実践方法の概説	
3	現場で明日から実践可能な『秘密のエピソード』	
1	PMBOK® 第7版12の原理・原則をj事例で伝える『秘密のエピソード』とは	
2	海外パッケージ適用PJのリーダ達の『秘密のエピソード』	ミニ演習
3	大型工場建設で度重なる設計変更をDXで乗り越えた設計リーダの『秘密のエピソード』	ミニ演習
4	『秘密のエピソード』の作成方法と実践演習	『秘密のエピソード』作成演習
4	おわりに	
1	振り返りとまとめ	クロージング演習
2	皆さまへのエール	

## 【講師略歴】吉野 均 氏

1977年3月東京工業大学卒業。同年4月富士通株式会社に入社。現役時代37年間は、主に金融機関様などのお客向けプロジェクトを、担当者・リーダー・管理者・責任者の立場から経験。現場で起こる様々な課題解決を通し、プロジェクトマネジメント（PM）力を身に付けた。2014年6月嘱託再雇用後の5年半は、現場力・実践力といったナレッジ継承活動に取り組み、その活動を通して、PM実践力を経験の記録として『ものがたり』に見える化し、次世代に継承する『ものがたり継承法』を確立した。退職直後の2020年1月より、在職時の43年間の経験を活かして『ものがたり継承法』の講師とナレッジハンター業を開始し、現在に至る。

- ・2018年8月 PM（プロジェクトマネジメント）学会「文献賞」受賞：「ものがたり」を使ってPMナレッジを継承
  - ・2018年12月 PM学会誌に論文掲載：『ものがたり』を介したPM実践知の継承法
  - ・2020年8月 社会情報大学院大学 実務家教員養成課程 修了
  - ・2020年11月 PM学会秋季大会論文発表：疑似体験が経験を補完できる条件に関する考察
  - ・2021年11月 PM学会秋季大会論文発表：未成熟な『PM基本知識』と機能しない『経験で継承』への処方箋
  - ・2022年4月 PMAJ（日本プロジェクトマネジメント協会）で『PMノウハウ継承研究会SIG』を立上げ
  - ・2023年9月 『PMノウハウ継承研究会SIG』としてPMAJ優秀貢献賞を受賞
- 『ものがたり』研究会のPMシンポジウム2024の録画講演PMBOK® 第7版12の原理・原則を伝える『秘密のエピソード』～ものがたり研究会成果ご紹介～の概要が約10分で[こちらから](#)ご視聴いただけます。

## ∞∞ 私が推薦します ∞∞

プロジェクトマネジメントの知識体系はPMBOKなどで整理されていますが、現実には極めて経験的な知識であり、書籍やマニュアルを読んだだけで修得できるものではありません。一方、多くの経験を積むには長い時間がかかります。特に、DXプロジェクトに関しては、経験が少ないという方も多いと思います。

その経験を仮想的に体験できるのが「物語」です。「物語」は、プロジェクトマネジメントの知識継承手法として有効ですが、講師の吉野均氏はIT企業での「物語」活用を長年実践してこられた第一人者です。今回も金沢駅前で開催とのことで、たいへん貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。



北陸先端科学技術大学院大学  
先端科学技術研究科  
トランスフォーメティブ知識経営研究領域  
教授 内平 直志 氏